

報道機関各位

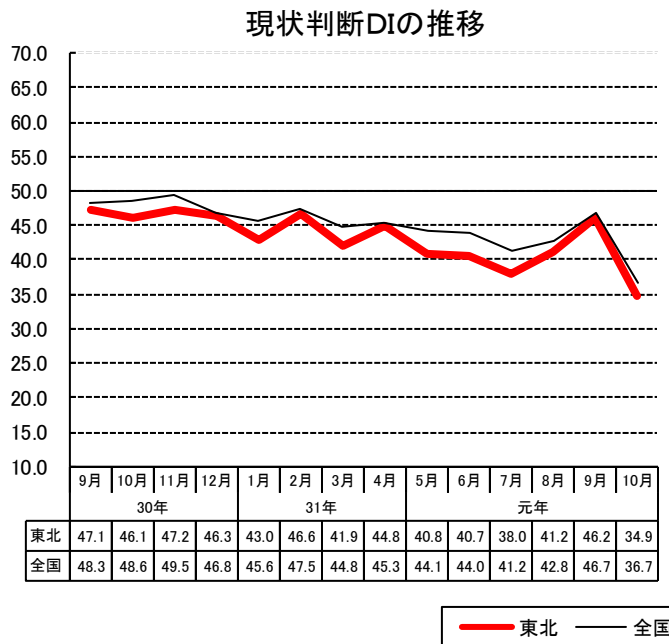
公益財団法人東北活性化研究センター
 「内閣府 景気ウォッチャー調査 令和 元年 10月 東北分
 (東北6県)」について

公益財団法人東北活性化研究センター（会長：佐竹 勤 株式会社ユアテック 取締役社長）は、このほど「内閣府 景気ウォッチャー調査 令和 元年 10月 東北分（東北6県）」について、とりまとめましたのでお知らせいたします。

1. 季節調整値

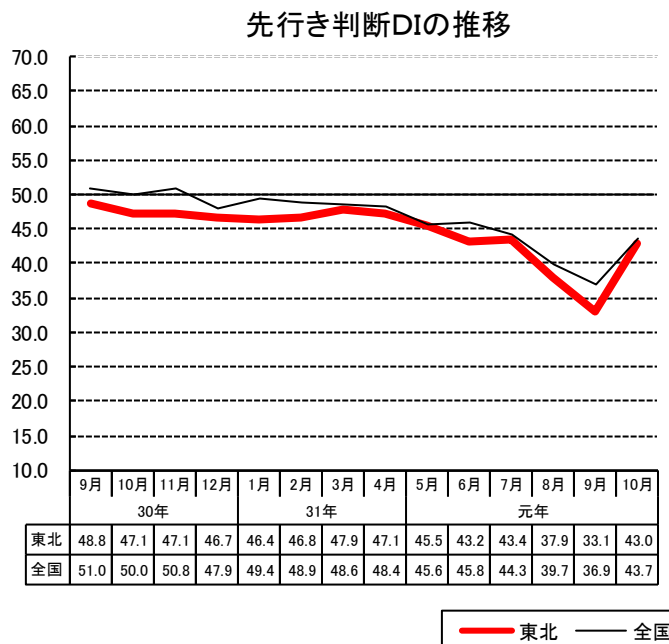
(1) 現状判断（3ヶ月前との比較、方向性 季節調整値）

現状判断DIは「34.9」と3ヶ月ぶりに前月を下回った。前月と比較し▲11.3ポイントと大幅に下回った。



(2) 先行き判断（2～3ヶ月前先の見通し、方向性 季節調整値）

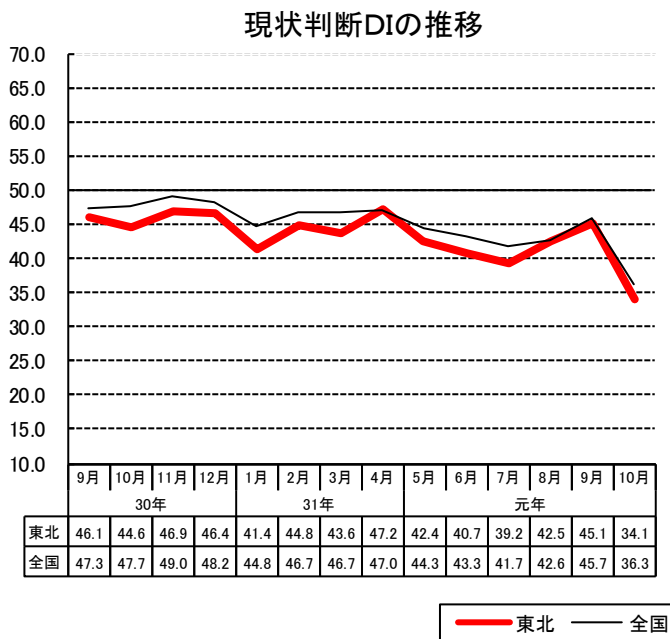
先行き判断DIは「43.0」と3ヶ月ぶりに前月を上回った。前月と比較し+9.9ポイントと大幅に上回った。



2. 原数値

(1) 現状判断 (3ヶ月前との比較、方向性)

現状判断DIは「34.1」と3ヶ月ぶりに前月を下回った。前月と比較し▲11.0ポイントと大幅に下回った。



○家計動向関連…コンビニ、家電量販店、百貨店、スーパー、美容室等の業種でDIが前月を下回った。

DIは「33.5」(▲11.5)と3ヶ月ぶりに前月を下回った。

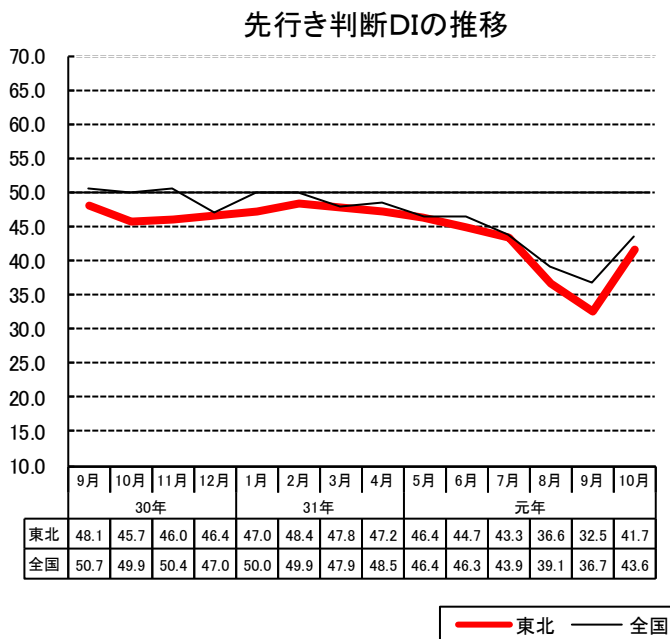
○企業動向関連…食料品製造業、出版・印刷・同関連産業、広告業協会等の業種でDIが前月を下回った。

DIは「33.6」(▲12.8)と2ヶ月ぶりに前月を下回った。

○雇用関連…DIは「38.9」(▲4.2)と、2ヶ月連続で前月を下回った。

(2) 先行き判断 (2~3ヶ月先の見通し、方向性)

先行き判断DIは「41.7」と8ヶ月ぶりに前月を上回った。前月と比較し+9.2ポイントと大幅に上回った。



○家計動向関連…旅行代理店、観光型旅館等の業種でDIが前月を下回ったが、通信会社、百貨店、家電量販店等の業種でDIが前月を上回った。

DIは「40.5」(+8.8)と7ヶ月ぶりに前月を上回った。

○企業動向関連…広告代理店、司法書士・経営コンサルタント、飲食料品卸売業等の業種でDIが前月を上回った。

DIは「47.1」(+13.5)と3ヶ月ぶりに前月を上回った。

○雇用関連…DIは「38.9」(+2.8)と5ヶ月ぶりに前月を上回った。

<参 考>

■D I の推移（原数値）

（1）現状判断（方向性）D I

	30年				31年				元年					
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
東北現状	46.1	44.6	46.9	46.4	41.4	44.8	43.6	47.2	42.4	40.7	39.2	42.5	45.1	34.1
家計動向関連	44.7	42.3	44.7	45.2	39.3	44.1	42.1	47.6	42.1	40.0	38.1	43.0	45.0	33.5
企業動向関連	48.0	46.5	50.0	46.6	42.9	42.1	43.1	46.5	41.4	41.9	40.7	39.6	46.4	33.6
雇用関連(参考)	51.3	55.0	55.0	53.8	51.3	53.8	53.8	45.6	46.3	43.4	43.4	44.4	43.1	38.9

（2）先行き判断D I

	30年				31年				元年					
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
東北先行き	48.1	45.7	46.0	46.4	47.0	48.4	47.8	47.2	46.4	44.7	43.3	36.6	32.5	41.7
家計動向関連	47.0	45.0	44.9	45.6	47.3	48.5	48.7	48.4	46.0	44.9	43.1	35.2	31.7	40.5
企業動向関連	50.7	45.8	48.6	45.3	43.6	44.1	45.8	43.8	47.1	42.6	43.6	37.5	33.6	47.1
雇用関連(参考)	50.0	50.0	47.5	53.8	51.3	56.3	46.3	45.6	47.5	47.4	44.7	44.4	36.1	38.9

※D I（Diffusion Index）について…50 を基準とし、50 を超えると景気が良い方向にあることを示す。

■調査の概要

調査期間 令和 元年 10月 25日～31日

回答者数 171/189名、回答率90.5%（全国1,830/2,050名、89.3%）

以 上

<お問い合わせ先>

公益財団法人 東北活性化研究センター（担当：伊藤 好春）
〒980-0021 仙台市青葉区中央2-9-10
TEL：022-225-1426 FAX：022-225-0082

<別 紙>

■特徴的と思われる判断理由（ウォッチャーのコメントから抜粋）

（１）現状判断理由

○「やや良くなっている」

（乗用車販売店）…台風 19 号の影響で冠水被害のあった地域では一定の特需が発生している。個人、法人共に動きが加速しているものの、被災していない地域は平常どおりのため、全体を大きく押し上げるには至っていない。

（人材派遣会社）…台風 19 号の影響は様々な業種に影響を及ぼしており、損害保険会社や小売業、物流会社から大口の人材需要が発生している。東北全体でも数百名規模となる見込みであり、当社でも人選対応に追われている。そのため、結果として通常の秋季より数倍の活況を呈しているものの、飽くまで短期的な動きである。

○「変わらない」

（商店街）…9月には消費税の引上げ前の駆け込み需要が多少あったが、増税後もキャッシュレス還元などの施策があるため、大きな反動減はみられていない。

（寝具販売店）…相変わらず商品の動きが鈍いものの、消費税の引上げによる影響は余りみられていない。

（一般レストラン）…ここ数か月は低空飛行状態が続いており、良くなるような雰囲気もない。同業他社も同様であり、来客数、売上、単価が落ちているという話である。

（住宅販売会社）…消費税の引上げ後から客の動きが鈍く、計画受注を下回っている。

（住宅展示場運営会社）…この3か月間において来客数の推移に大きな変化はない。新規と2回目以降のどちらの来客数も減少している。

（電気機械器具製造業）…日常生活で消費税の引上げの影響が余り見受けられず、景気の下向きや上向きの実感はない。

（新聞社〔求人広告〕）…ラグビーワールドカップによる経済効果を期待していたが、台風で開催が中止されたことが響いている。

○「やや悪くなっている」

（スーパー）…前年比において来客数 97.7%、売上 98.9%と前年を下回っている。買上点数は 102.8%と伸長しているため、買物に慎重になり価格に敏感に反応している客の様子がうかがえる。また、酒、たばこ、雑貨などの消費税の引上げ前の駆け込み需要もマイナス要因となっている。

（コンビニ）…消費税の引上げ後は酒類、日用品類の販売が鈍く、前年比で5ポイント減少している。

（衣料品専門店）…消費税の引上げや週末の台風などの影響に伴い、来客数は前年比 80%、客単価は前年比 90%の状態である。

（家電量販店）…想定よりは少なかったものの、消費税の引上げによる影響が出ている。ラグビーワールドカップでの日本の活躍により、テレビなど多少上向いた商品もあるが、全体的には増税の影響により減少している。

（住関連専門店）…消費税の引上げ直後のため、売上は非常に悪い状態となっている。

（ガソリンスタンド）…消費税の引上げ前の駆け込み需要の反動減や、台風 19 号の影響により、販売量の減少が著しい状態である。

（観光型旅館）…消費税の引上げ後もそれなりに推移していたが、月後半からの台風被害の影響もあり、来客数はやや減少している。

（観光名所）…台風や大雨などの災害により団体客のキャンセルが増えている。東日本大震災の後のように被害の報道がされているため、出掛ける気にならないという雰囲気が漂っている。

(設計事務所) …官公庁からの発注案件が減っており、受注が見込めない月となっている。さらに、落札金額の低下に伴い売上は圧縮傾向にある。台風 19 号の水害に伴う関連物件の調査、設計、工事が来年 3 月までと提示されているようだが、人手不足や発注金額の低下が見込まれることから、収益性が低く多くの対応を求められる業務が増加するとみている。

(食料品製造業) …9月に発生した消費税の引上げ前の駆け込み需要の反動減により苦戦している。食品のため軽減税率の対象ではあるものの、土産物は厳しい状態である。また、台風の影響もあり、売上は前年を大幅に下回っている。

(出版・印刷・同関連産業) …前月までは消費税の引上げ前の駆け込み需要で 10%ほどの売上があったが、今月はその反動減により、3か月前と比較して5~10%売上が落ちている。

(輸送業) …全体的に受注量が減少しており、それに伴い売上も減少している。

(広告業協会) …消費税の引上げによる消費の減速が懸念されている。さらに、台風被害の影響により広告出稿を控える企業もあり、全体的にマイナス傾向にある。

(企画業) …前月同様、取引先の流通業において消費税の引上げの影響が大きく、その余波が当社への受注量の減少につながっており、前年比 25%の減少となっている。

(職業安定所) …製造業などにおいて、業績などを理由とした人員削減が確認されている。高卒求人においては、製造業などにおいて求人数の削減が散見されている。

○「悪くなっている」

(百貨店) …消費税の引上げ前の駆け込み需要の反動減も大きいですが、駆け込みが少なかった衣料品においても予想以上の買い控えが発生している。秋物の実売期のため、一部のなじみ客からのまとめ買いはあったものの、セール品や均一価格などの低単価商材を中心に稼働しており、かなりの苦戦となっている。

(旅行代理店) …台風 15 号の影響で首都圏方面の旅行が大量にキャンセルされている。また、その次の台風 19 号では被害も発生しており、大幅な売上減となっている。

(タクシー運転手) …消費税の引上げによる悪影響と、台風 19 号やその次の週の大雨で、乗客数が大幅に減少している。

(通信会社) …9月に消費税の引上げ前の駆け込み需要があったこともあり、10月の販売量は前年同月比 70%で推移している。

(美容室) …前年並みで推移していた来客数が、今月は 10%近く減少している。

(飲食料品卸売業) …景気の悪さに加えて台風の影響も大きく、取引先では非常に売上が悪い様子である。同様に当社の状況も悪くなっている。

(2) 先行き判断理由

○「やや良くなる」

(百貨店) …消費税の引上げに関する声も少なくなり、前回の増税時ほどのマイナスインパクトはみられていない。食品の動きに多少の不安があるものの、年末商戦から少しずつ回復していくとみている。

(家電量販店) …消費税の引上げ前の駆け込み需要の反動減が収まり、前年並みに戻るのではないかとみている。また、台風や豪雨災害からの復興需要も多少見込めるとみている。

(ショッピングセンター) …台風の影響はあるものの、消費税の引上げの影響が落ち着くため、ポイント還元やその他の施策の効果が発揮されれば、多少は景気が上向くとみている。年末に向けて消費マインドの回復を期待している。

(金融業) …当県主力の一次産業の出荷が本格化し、地域における消費の循環が活発化する。水産資源は漁獲量の確保自体が予測困難な状況であるものの、農産物は相応の産地価格帯が期待できるとみている。

(広告代理店) …東京オリンピック需要に一時的な期待をしている。しかし、その後の景気の低下は避けられないとみている。

(飲食料品卸売業) …自然災害の影響も一過性であり、この先は消費税の引上げによる心理的影響も弱まるとみている。

○「変わらない」

(スーパー) …この先は、消費税の引上げ前の駆け込み需要の反動減も徐々に回復するとみている。ただし、各社の販促合戦が心配である。

(コンビニ) …消費税の引上げの影響は少ないものの、売上増加につながるような要因も少ない。キャッシュレス関係も、東北においては大きく進展している様子はみられていない。

(一般レストラン) …今後は客も消費税の引上げにある程度慣れていくため、これ以上の下降はなく、現状維持で推移していくことを期待している。また、キャッシュレスでの支払が急激に増えているが、年配の客はなかなか大変そうである。

(住宅販売会社) …台風被害の影響で材料の納期が遅れており、住宅の完成予定日が決定できない物件も出てきている。そのため、代金回収が伸びる可能性がある。

(食料品製造業) …消費税の引上げに伴う買い控えにより、販売量が減少する状態が続くとみている。

(司法書士) …不動産取引においては消費税の引上げ前の駆け込み需要が余りみられなかったが、増税後も特に状況は変わっていない。

(企画業) …流通業における消費税の引上げの影響がすぐに解消することは考えにくく、2～3か月は続くとみている。台風災害などの復旧需要もなく、その方面でも景況に好転材料はない。

(人材派遣会社) …業績を下方修正している企業が若干みられるものの、求人活動については充足している企業はなく、人手不足という状況は続くとみている。採用活動を続ける企業が多いということで、景気の動きも余り変わらないとみている。

(職業安定所) …消費税の引上げによる消費意欲の減退や、韓国との関係悪化、中国経済の減速の影響がこれから出てくるとみている。

○「やや悪くなる」

(医薬品販売店) …想定外に多くの客が台風や大雨による洪水の被害にあっている。これからどう生活を再建したらいいのか分からないとの訴えも多く、生活再建のための必要最小限の出費以外は当面後回しにされそうな雰囲気である。

(観光型旅館) …消費税の引上げや台風被害など、マイナス要因が多く先が読めない状態である。前年並みを維持するためには相当苦戦するとみている。

(旅行代理店) …消費税の引上げで景気が悪化すると見込まれていたが、落ち込みはそれほどではない。むしろ、台風や大雨の影響が懸念される。

(窯業・土石製品製造業) …台風15号の被害により、農業生産や個人消費など地域経済全体に影響が出てくるとみている。

(新聞社〔求人広告〕) …地元水産業の基幹となるサンマ、秋サケの深刻な不漁に加え、台風19号によるふ化場の被災、畜産施設の破損、りんごの落果被害など農林水産被害が大きい。被害は更に膨らむ見通しである。

東北地域に関する解説は、当センターの責任でまとめたものです。

以 上